

施工取扱要領

1. 保管および運搬について

MCCP 鋼管を長期間保管する場合は、原則として屋内で保管して下さい。やむを得ず屋外で保管する場合は、シート等で覆うなどして、特に外面被覆を損傷しないよう注意して下さい。

また、保管時管体の自重により保管台との接触部に若干のくぼみができることがあります。これは性能上支障はありません。

各種積み卸し作業、起重機・フォークリフトによる運搬作業等では、被覆に直接鋭利な部分が接触しないよう注意して下さい。吊り上げには必ずナイロンスリング等、被覆に損傷を与えないような吊り具を使用して下さい。

配管作業時には、鋭利な石・砂利等により被覆に損傷を与えないように配慮して下さい。

2. 継手の取付および管路の接続

1



2



通常の鋼管と同じ要領で切断します。チャック部が鋭利な場合や締付力が強い場合など被覆を損傷する恐れのある場合はゴムシート等を介して下さい。

3



グラインダーまたはヤスリ等を用いて管端内外面の面取りを行います。

3



図に示すように、管端面を仕上げして下さい。仕上げが悪いと継手挿入性やケーブル導通性を損ねる恐れがあります。

4



継手を取り付けて完成です。

3. 現場での切管および継手取付のための管端処理作業

1



2



管端から $L/2$ (L = 中間継手長さ) の位置にマーキングをします。

3



管端をつき合わせ、軸心を一致させます。

4



4. 中間継手（ヤリトリ継手）による管路の接続